



RENGO - NAGASAKI
SASEBOCHIKYO

連合長崎 させぼ

NO. 63

連合長崎 佐世保地域協議会
〒857-0851 佐世保市稲荷町 2-28
TEL (0956) 20-0565
FAX (0956) 20-0567
発行日：2025年1月23日
発行責任者：瀬上徳博

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう
～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

組合員とご家族の皆さま方におかれましては、健やかに新年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。また、年末年始に各職場で勤務された組合員の皆さまには心から感謝いたします。

さて、昨年の2024春闘は平均賃金方式で14,617円・5.06%（前年同時期比4,014円・1.40ポイント増）で昨年を上回り連合長崎結成以来、最高となりました。一方、地場組合の平均は12,282円・5.18%（同5,468円増・2.00ポイント増）となっており最高となっています。しかし、大手組合と地場組合の格差については、それぞれの企業における業績も一つの要因であるものの、規模が小さいほど原材料費やエネルギー費、労務費など価格転嫁が進んでいない事が考えられました。

このような中、2025春闘で連合は昨年と同様に定昇込み5%以上を目標として取り組むこととしています。加えて中小地場組合は6%以上の賃上げを目標として、規模間格差を解消する取り組みを佐世保地協としても連合長崎と連携した運動を展開していきます。

コロナ禍以降、人の動きが活発になってきたことは大変喜ばしいことですが、多くの物価が高騰していく中で生活に苦慮する組合員も多かったのではないのでしょうか。組合員とその家族の生活改善に向けて取組んだ2024春闘では、長崎でも高水準の賃上げ結果となった事は全体としては評価しなければならないと思っています。これから2025春闘が本格的にスタートします。労働者の生活向上のためにも継続した賃上げの流れを大手のみならず中小企業、そして非正規労働者にも広く波及させていく必要があります。

そのような働く者の声を聴き、反映させるのが政治の役割です。今年の夏には参議院議員選挙が行われます。地方から政治の流れを変えるべく、私たちが目標とする「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざす絶好のチャンスです。そのためには、連合長崎が推薦決定した「深堀ひろし」の必勝と、各産別の推薦候補者全員の当選を果たす必要があります。社会保障や経済対策などを石破自公政



連合長崎・佐世保地域協議会
議長 榎本 洋

権にいつまでも任せるわけにはいきません。佐世保地協に集う全組合員・ご家族の絶大なるご支持・ご支援をお願いいたします。

2025 春期生活闘争の取り組みと併せて、私たち労働者のための闘いとして勝ち抜きましょう。

最後に、私たちは、あらためて一人一人が自分自身と向き合い、職場の仲間と連携し、お互いを尊重する社会を実現していくことが、新たな社会、労働運動を築く第一歩として、佐世保地協幹事一同、支えあえる組織として奮闘してまいります。

今年一年が皆さんにとって輝かしい一年となることを祈念してご挨拶いたします。

2025年労働三団体「旗開き」



榎本実行委員長挨拶

2025年1月17日（金）18:30～JA 佐世保ホール 6階・大ホールにおいて、ご来賓、各労働団体構成組織の組合役員79名参加のもと「2025年労働三団体旗開き」が開催されました。「労働三団体旗開き」は連合佐世保地協、佐世保地区労、同盟友愛北部支部の三団体で実行委員会を設置し、榎本実行委員長（連合佐世保地協・議長）、福田副実行委員長（佐世保地区労・議長）、大田副実行委員長

（同盟友愛北部支部・代表幹事）他、実行委員で構成し毎年開催されております。

式典では、主催者を代表し榎本実行委員長より、年頭のあいさつに加え「2025 春季生活闘争の取り組み」「第27回参議院議員選挙」等についてあいさつがなされました。ご来賓として連合長崎より中川副会長、県北振興局、佐世保市、各政党の代表者よりそれぞれごあいさつをお受けし、その他多くのご来賓をご紹介します、祝電メッセージ披露、最後に向こう1年を労働三団体に集う多くの仲間と運動を進めるため、榎本実行委員長による団結ガンバローで締めくくりました。



連合長崎 中川副会長



参加者による団結ガンバロー



社民 堤代表



立民 山田代表



国民 深堀幹事長

佐世保地協第19回定期総会

連合長崎佐世保地協 第19回定期総会



連合長崎佐世保地域協議会は、2024年11月16日15:00より佐世保市労働福祉センターにおいて、総会代議員48名、役員18名出席とご来賓21名の臨席をいただき『第19回定期総会』を開催しました。

総会は、議長団に菅代議員（基幹労連・佐世保重工労組）、永田代議員（JP労組長崎県北支部）の両名を選出し、榎本地協議長より2024年1月の「能登半島地震」また、9月の「能登半島豪雨」で被災された、皆さまへのお悔やみとお見舞い、2024春闘における成果と2025春闘に向けた思い、国政選挙にお

ける「政党」ならびに「候補者」との向き合い方等々あいさつを受け、連合長崎「中川副会長」をはじめとして、7名の方よりご激励のごあいさつをいただきました。

その後、休憩をはさみ議事に入り2024年度の経過報告・会計報告・監査報告を行い、引き続き議案審議に入り、第1号議案「2025年度活動方針」、第2号議案「2025年度予算」、第3号議案「2025年度役員体制」の審議を行っ、全てについて総会代議員の満場一致で承認を受けました。

なお、本総会をもって、藤澤幹事（国公連合）、山下幹事（自治労）、奥幹事（全労金）の3名が退任されました。3名の方には、これまでのご尽力に対し感謝いたします。これに伴い、3名の方が新たに加わりました、山口孝仁氏（全駐労長崎地本）、箆島鋭治氏（佐世保市職労）、栗栖美紀氏（労金労組佐世保分会）のご活躍にご期待いたします。



総会議長団

永田議長

菅議長

【退任役員】



藤澤恒昌さん



山下三好さん



奥 正幸さん

【新任役員】



山口孝仁さん



箆島鋭治さん



栗栖美紀さん

第8回福祉まつり開催



笑顔が似合う 榎本実行委員長



サセボ サウンド クラブ



フラッシュデー+相浦西小児童



ダンスチーム zero

佐世保地区労福協、労金、こくみん共済 coop による第8回福祉まつりは、12月14日(土)11:00より佐世保駅みなと口広場において開催され、ステージイベント・出店には、大人・こども約1,100名のご来場をいただき、大盛会のイベントとなりました。

榎本実行委員長の開会のあいさつの後、バンド演奏、ダンス披露などの催物。会場内のテントには、から揚げ・焼き鳥・カレーにうどんなど多くの出店でご来場の皆さまも舌鼓を打ち、大いにオナカをふくらませることができました。また、お楽しみの抽選会では、各組織のご協力で多くの賞品が寄せられ盛大な大抽選会となりました。子供向けのゲームコーナーも開設され子供たちに楽しみながら挑戦してもらいましたし、綿あめやポップコーンも好評でした。最後に餅まきを行い終了しました。

事前の準備や、当日の運営・後片付け、また、抽選会の商品提供までご協力をいただきました福祉団体、組織、各組合、組合員の皆さまに深く感謝申し上げます。大変お疲れ様でした。

お楽しみ大抽選会



もちまき

佐世保地区労福協「ライフプランセミナー」

2024年12月4日（水）18:30～佐世保市労働福祉センターにおいて、53名参加のもと、佐世保地区労福協主催による「ライフプランセミナー」を開催しました。

セミナーでは、2人の講師をお招きし、九州労働金庫佐世保支店の奥 正幸氏より「退職後に向けた資産形成について」、こくみん共済 coop 佐世保支所の澤田 和氏からは「セカンドライフに向けて」をテーマに講義いただきました。

これからの将来設計の参考になる有意義な内容で、講演が行われました。



九州労働金庫
佐世保支店「奥 正幸氏」



地区労福協「榎本会長」



こくみん共済 coop
佐世保支所「澤田和氏」



佐世保地区労福協「スポーツ大会」

2024年9月22日（日）、スポーツの秋到来で今年も県立青少年の天地「多目的ホール」において、佐世保地区労福協、連合佐世保地協共催による、『2024 スポーツ・レクリエーション大会』を開催しました。

大会には、地区労福協・連合佐世保地協に集う組合員70名超が参加、ろうきん・こくみん共済coop合同チームがまさかの優勝を飾り、今回佐世保地協枠で初参戦したニッチツ労組が準優勝を勝ち取りました。3位は、ハウステンボス労組・ろうきん労組の結果でした。

また、今回初の試みとして、待ち時間を有効活用する目的で「輪投げ」を行いました。これが結構好印象で盛り上がったのではなかったでしょうか。

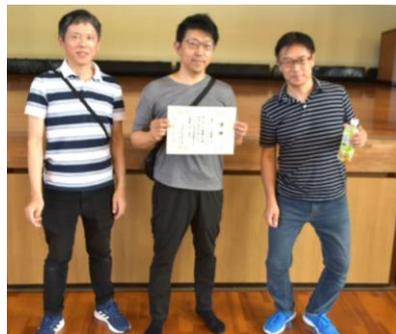
成績は、第1位「西部ガス労組」、第2位「佐世保水道労組」、第3位「全港湾労組・チームRYO」の各チームとなりました。

参加された組合員の皆さま、そしてスタッフの皆さま大変お疲れさまでした。

福祉団体対戦風景



まさかの優勝



福祉団体チーム



第2位 アジフライ



第3位 チームHTB



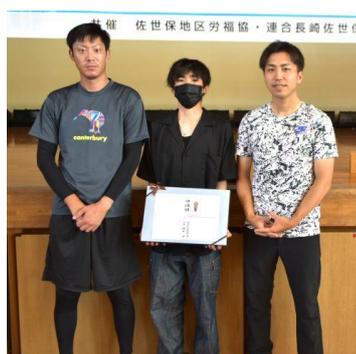
金丸副実行委員長あいさつ



第3位 チームろうきん



第1位 チーム西部ガス



第2位 佐世保水道チーム



第3位 チームRYO

第50回衆議院議員選挙

「10増10減」による新たな選挙制度（長崎県の小選挙区は4から3へ1減）で行われた「第50回衆議院議員総選挙」は、2024年10月15日に公示され10月27日に投開票日を迎えた。

連合長崎推薦候補者、1区「西岡秀子氏」は、他候補をよせつけず3選を果たし、今年4月の旧3区補選に勝利した2区「山田勝彦氏」は、小選挙区では自民党候補に苦杯を舐めたものの比例で復活し3回目の当選を果たした。

新3区「すえつぐ精一氏」については、一年前の旧4区補選の再戦となり「捲土重来」を期して臨んだが、健闘むなしく敗れ去った。



敗戦の弁を語る「末次候補」



悲痛の「山田代表」

第27回参議院議員選挙

参議院通常選挙は、本年夏には執行される。佐世保地域協議会は、連合長崎を含む「7団体懇話会」の候補予定者「^{ふかほり}深堀 ^{ひろし}浩氏」の推薦を第11回幹事会で推薦を確認し、来たる参議院選挙に備え体制づくりに入るべく準備を進めている。

【プロフィール】



生年月日	1965年8月10日（満59歳）	長崎市出身
政治活動歴	2007年5月	長崎市議会議員初当選
	2011年4月	長崎県議会議員初当選
	2015年4月	長崎県議会議員2期目当選
	2017年7月～	国民民主党長崎県第1区総支部 総支部長代行
	2019年4月	長崎県議会議員3期目当選
	2020年2月～	国民民主党長崎県総支部連合会 幹事長
	2023年4月	長崎県議会議員4期目当選

地方が主役の政治へ！

2025春闘スローガン

【メインスローガン】

!!! みんなでつくろう!
賃上げがあたりまえの社会

【サブスローガン】

!!! みんなでつくろう!
働く仲間の労働組合

【編集後記】

2025 春季生活闘争は、四半世紀に及ぶ慢性デフレに終止符を打ち、動き始めた賃金、経済、物価を安定した軌道に乗せる正念場であり、社会的な広がりを意識し、賃上げの実現、適正な価格転嫁と暮らしの底上げに向けた機運を醸成しなければなりません。

2022 春季生活闘争からスタートした「未来づくり春闘」。2023 闘争では「転換点」を創り、2024 闘争では「ステージ転換」に向けた大きな一歩を踏み出した。

いよいよ「賃上げ」が当たり前の社会づくりへ『新たなステージ』を定着されるための正念場の闘いとなります。

今後、春闘関係行事が続きます。皆さまの積極的なご参集をよろしくお願い申し上げます。最後となりますが、前号の発刊から期間が空きましたこと申し訳ございません。